

はじめに

大学における学修が中学校や高等学校と異なるのは、自らが自らの責任において毎年の学修計画を立て、卒業に必要な単位を満たしていくという点にあります。

この『履修の手引』は、受講する科目の選択・登録から試験・単位の修得、さらには進級・卒業等の重要な手続や要件を、学則や関係する諸規程等に基づいて編集したものです。

毎年、『履修の手引』や掲示の見落とし、誤った解釈等による履修手続の不備や期限遅れが原因で、受講したい科目が受けられなくなるばかりか、進級・卒業できずに留年するような事態が起きています。こうした事態を未然に防ぐためにも、学年の始めには常にこの『履修の手引』を携帯し、機会あるごとに参照して正しい認識の下に各自で学修計画を立ててください。もし不明なところがある場合は、自己流の解釈をせず、学事課（教務担当）に相談し、解決するように努めてください。

なお、『履修の手引』の記載内容が変更された場合は、掲示でお知らせしますので、見落としのないように注意してください。

『履修の手引』の構成について

各ページにある
インデックスを
利用すると
掲載項目が一目で
分かります。

I
共通事項（全学生共通）

1
授
業

I 共通事項（全学生共通）

全学生を対象とした項目です。

ただし、項目によっては、入学年度別に掲載されている箇所がありますので、注意してください。

授 業

1

履 修

2

試験・成績

3

単位認定制度

4

学 籍

5

その他

6

教務事務

7

教育課程の構成

8

進級・卒業

9

教育課程表

10

他学部・他学科開放科目／
産学連携教育プログラム

11

II 編入学生特記事項

編入学生を対象とした項目です。

編入学生のみを対象とした制度等について掲載されています。

編

※各項目の詳細は次のページの
目次を参照してください。

目次

2022年度学年暦／建学の精神／明海大学の教育のポリシー／三つのポリシー／学部長メッセージ／学部概要

I 共通事項

1 授業

1 授業	1
[1] 学期	1
[2] 授業時間	1
[3] 授業の出席	1
[4] 授業の欠席	2
[5] 休講	3
[6] 補講	3
2 授業科目	3
[1] 開講期	3
[2] 配当年次	3
[3] 授業科目の種類	3
3 単位制	4
[1] 単位制とは	4
[2] 単位を修得するための学修時間	4
[3] 各授業科目の単位数	4
[4] 単位の認定	4

2 履修

1 履修のルール	5
[1] 履修登録とは	5
[2] 履修単位数の上限	6
[3] クラス指定	6
[4] 再履修	7
[5] 履修できない科目	7
2 履修登録方法	8

3 試験・成績

1 試験	13
[1] 試験の種類	13
[2] 定期試験の欠席	14
[3] 試験日程・受験手続	14
[4] 試験時間	15
[5] 受験資格・受験上の注意	15
2 成績	16
[1] 成績評価・成績表記	16
[2] GPA(成績平均点数制)	17
[3] 成績発表	18
[4] 成績調査	18

4 単位認定制度

1 単位認定制度について	19
2 各制度の内容及び申請方法等	20
[1] 既修得単位	20
[2] 知識及び技能に係る審査の成果	23
[3] 派遣留学生(約1年間の海外留学)	33
[4] 派遣留学生(短期海外研修)	34
[5] 派遣学生(国内)	34
[6] インターンシップ	35
[7] ボランティア活動	36
[8] ホスピタリティ・ボランティア活動	36

5 学籍

1 修業年限と在学期間	37
2 学籍の異動	38
[1] 休学	38
[2] 復学	39
[3] 退学	39
[4] 除籍	39
[5] 復籍	39
[6] 転学部	39

6 その他

1 明海多言語コミュニケーションコモンズ(MLACC)	40
2 コンピュータ・コンサルティング・サロン(CCS)	40
3 科目等履修生	41
4 研究生	41

7 教務事務

1 証明書	42
2 事務取扱時間	43
3 問い合わせ	43
4 学生への連絡	44
[1] Webポータルシステムによる掲示配信	44
[2] 掲示板の場所と掲示内容	44
5 シラバス	45
6 manaba	46
7 メールアカウントの付与	46
8 交通機関の運休又は自然災害等による休講措置	46

8 教育課程の構成

1 授業科目の構成	47
2 専門科目	49
3 カリキュラムマップ(履修系統図)	52
4 クラス担任制	59
5 IEES for TOEIC (Integrated English Education System for TOEIC)	59
6 メジャー変更	60

9 進級・卒業

1 進級	61
[1]進級要件	61
[2]進級発表	63

2 卒業	63
[1]卒業要件	63
[2]卒業単位充足者・卒業予定者発表	65
[3]学位	65
3 年次(学期)別基準単位数	66

10 教育課程表

教育課程表	73
-------	----

11 他学部・他学科開放科目/産学連携教育プログラム

他学部・他学科開放科目の履修	88
産学連携教育プログラムの履修	93

II 編入学生特記事項

1 修業年限と在学期間	95
2 2年間の学修計画	95
3 既修得単位の認定(包括・弾力認定)	95
4 卒業要件	96

5 その他	96
[1]クラス指定	96
[2]修得(認定)済科目の履修	96
6 教育課程表(編入学生用)	97

2022年度 浦安キャンパス学年暦 (グローバル・マネジメント メジャー)

■前学期 4/1 (金) ~ 9/14 (水)

□ : 通常授業実施日

◻ : 休日授業実施日

2022/ 4 April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
3/27	28	29	30	31	1	2	4/1(金) 3/25(金) 3/28(月) 3/29(火)	学年始め オリエンテーション(3年) オリエンテーション(4年) オリエンテーション(2年)
		← 履修登録期間 →						
3	4	5	6	7	8	9	3/29(火)~4/1(金) 3/30(水)~4/1(金) 3/30(水)~4/5(火) 3/31(木)	履修登録期間・履修相談期間 オリエンテーション(新入生・編入学生) 単位認定申請期間 産学連携教育プログラム履修ガイダンス 入学式
10	11	12	13	14	15	16	4/4(月) 4/5(火)	Spring Semester Term1授業開始
		← 履修登録修正期間 →						
17	18	19	20	21	22	23	4/11(月) 4/12(火) 4/13(水) 4/14(木) 4/15(金)	学生定期健康診断(1年) 学生定期健康診断(2年) 学生定期健康診断(3年) 学生定期健康診断(4年) 学生定期健康診断(予備日)
							4/12(火)	単位認定発表
24	25	26	27	28	29	30	4/12(火)~17(日) 4/29(金) 4/30(土)	履修登録修正期間 休日授業実施日(昭和の日) Spring Semester授業料等納入期限
							昭和の日	

5 May

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1	2	3	4	5	6	7	5/6(金)・7(土) 5/17(火)	振替休日(休業) 創立記念日(休日授業実施日)
		憲法記念日	みどりの日	こどもの日	休業日	休業日		
8	9	10	11	12	13	14		
15	16	17	18	19	20	21		
		創立記念日						
22	23	24	25	26	27	28		
29	30	31						

6 June

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4	6/1(水)~6/30(木) 6/4(土) 6/6(月)	クリーンキャンペーン月間 Spring Semester Term 1 授業終了 Spring Semester Term 2 授業開始
5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30				

7 July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
					1	2	7/18(月) 7/30(土)	休日授業実施日(海の日) Spring Semester Term 2 授業終了
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18 海の日	19	20	21	22	23		
24 31	25	26	27	28	29	30		

8 August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
	1	2	3	4	5	6 休業日	8/1(月)~9/14(水) 8/6(土) 8/19(金) 8/20(土) 8/26(金) 8/27(土)	夏季休暇 振替休日(休業) 9月卒業単位充足者発表 振替休日(休業) 単位認定申請期限 (Spring Semester成績反映分) 振替休日(休業)
7	8	9	10	11 山の日	12	13		
14	15	16	17	18	19	20 休業日		
21	22	23	24	25	26	27 休業日		
28	29	30	31					

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3 休業日	8/1(月)~9/14(水) 9/3(土) 9/5(月) 9/5(月) 9/5(月)・6(火)	夏季休暇 振替休日(休業) 進級発表(9月入学者) 9月卒業予定者発表 Spring Semester成績発表 Spring Semester成績調査願提出期間 4年(8学期)
	4	5	6	7	8	9 休業日		
	11	12	13	14			9/7(水)~12(月) 9/8(木)~12(月) 9/10(土) 9/14(水)	履修登録修正期間(4月入学生) 履修登録期間・履修相談期間(9月入学生) 履修登録期間・履修相談期間(9月入学生) 振替休日(休業) 9月学位記授与式

■後学期 9/15 (木) ~ 3/31 (金)

□ : 通常授業実施日

◻ : 休日授業実施日

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			7	8	9	10	8/1(月)~9/14(水)	夏季休暇
			履修登録修正期間 (4月入学生)				9/7(水)~12(月)	履修登録修正期間 (4月入学生) (授業開始前)
			履修登録期間・履修相談期間 (9月入学生)				9/8(木)	9月オリエンテーション
11	12	13	14	15	16	17	9/8(木)~12(月)	履修登録期間・履修相談期間 (9月入学生)
履修登録修正期間 (4月入学生)							9/8(木)~12(月)	単位認定申請期間 (9月入学生)
履修登録期間・履修相談期間 (9月入学生)							9/10(土)	振替休日 (休業)
18	19	20	21	22	23	24	9/14(水)	9月入学式
	敬老の日		履修登録修正期間				9/15(木)	Fall Semester Term 1 授業開始
					秋分の日		9/19(月)	休日授業実施日 (敬老の日)
25	26	27	28	29	30		9/20(火)	単位認定発表 (9月入学生)
							9/21(水)~23(金)	履修登録修正期間 (授業開始後)
							9/23(金)	休日授業実施日 (秋分の日)

10 October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
						1	10/10(月)	休日授業実施日 (スポーツの日)
							10/31(月)	Fall Semester 授業料等納入期限
2	3	4	5	6	7	8		
9	10	11	12	13	14	15		
	スポーツの日							
16	17	18	19	20	21	22		
23	24	25	26	27	28	29		
30	31							

11 November

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
		1	2	3	4	5	11/1(火)~30(水)	クリーンキャンペーン月間
				文化の日			11/11(金)~14(月)	明海祭 (休講) ※準備、片付けを含む。
6	7	8	9	10	11	12	11/14(月)	Fall Semester Term 1 授業終了
							11/15(火)	Fall Semester Term 2 授業開始
							11/23(水)	休日授業実施日 (勤労感謝の日)
13	14	15	16	17	18	19		
20	21	22	23	24	25	26		
			勤労感謝の日					
27	28	29	30					

12 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3	12/26(月)~	冬季休暇
							2023年1/7(土)	
4	5	6	7	8	9	10	12/28(水)	振替休日 (休業)
11	12	13	14	15	16	17		
18	19	20	21	22	23	24		
25	26	27	28	29	30	31		
			休業日					

2023/ 1 January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1 元日	2 振替休日	3	4	5	6	7	12/26(月)～ 2023年1/7(土)	冬季休暇
8	9 成人の日	10	11	12	13	14	1/10(火)～12(木)	Fall Semester補講期間 休講日
15	16	17	18	19	20	21	1/10(火)～12(木) 1/13(金)	大学入学共通テスト準備日(休講) 大学入学共通テスト(休業)
22	23	24	25	26	27	28	1/14(土)・15(日) 1/16(月) 1/30(月)	Fall Semester Term 2 授業再開 Fall Semester Term 2 授業終了
29	30	31					1/31(火) 1/31(火)	単位認定申請期限 4年(8学期) 春季休暇開始

2 February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4 休業日	2/4(土)	振替休日(休業)
5	6	7	8	9	10	11 建国記念の日	2/13(月) 2/18(土) 2/24(金)	卒業単位充足者発表 振替休日(休業) 単位認定申請期限 1年(1学期)～4年(7学期)
12	13	14	15	16	17	18 休業日	2/25(土)	振替休日(休業)
19	20	21	22	23 天皇誕生日	24	25 休業日		
26	27	28						

3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4 休業日	3/1(水)	卒業予定者発表
5	6	7	8	9	10	11	3/1(水) 3/1(水)・2(木)	Fall Semester成績発表 4年(8学期) Fall Semester成績調査願提出期間 4年(8学期)
12	13	14	15	16	17	18	3/4(土)	振替休日(休業)
19	20	21	22	23	24	25	3/15(水) 3/15(水) 3/15(水)	学位記授与式 進級発表(4月入学生) Fall Semester成績発表 1年(1学期)～4年(7学期)
26	27	28 春分の日	29	30	31		3/16(木)～22(水)	Fall Semester成績調査願提出期間 1年(1学期)～4年(7学期)
							3/31(金)	学年終了

注意 学年暦の変更、授業に直接関係のある緊急事項及び諸行事等の詳細日程・場所等については随時掲示で告知します。
また、休業日は事務窓口取扱等は一切行いません。

2022年度 浦安キャンパス学年暦

(ビジネス&プロフェッショナル・コミュニケーション メジャー、デジタル・イノベーション メジャー、ホスピタリティ・ツーリズム メジャー)

■前学期 4/1 (金) ~ 9/14 (水)

□ : 通常授業実施日

◻ : 休日授業実施日

◻ : 試験実施日

2022/ 4 April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
3/27	28	29	30	31	1	2	4/1(金) 3/25(金) 3/28(月) 3/29(火)	学年始め オリエンテーション(3年) オリエンテーション(4年) オリエンテーション(2年)
		履修登録期間						
3	4	5	6	7	8	9	3/29(火)~4/1(金) 3/30(水)~4/1(金) 3/30(水)~4/5(火) 3/31(木)	履修登録期間・履修相談期間 オリエンテーション(新入生・編入学生) 単位認定申請期間 産学連携教育プログラム履修ガイダンス 入学式
10	11	12	13	14	15	16	4/4(月) 4/5(火)	前学期授業開始
		履修登録修正期間						
17	18	19	20	21	22	23	4/11(月) 4/12(火) 4/13(水) 4/14(木) 4/15(金)	学生定期健康診断(1年) 学生定期健康診断(2年) 学生定期健康診断(3年) 学生定期健康診断(4年) 学生定期健康診断(予備日)
24	25	26	27	28	29	30	4/12(火)~17(日) 4/29(金) 4/30(土)	単位認定発表 履修登録修正期間 休日授業実施日(昭和の日) 前学期授業料等納入期限
							昭和の日	

5 May

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1	2	3	4	5	6	7	5/6(金)・7(土) 5/17(火)	振替休日(休業) 創立記念日(休日授業実施日)
		憲法記念日	みどりの日	こどもの日	休業日	休業日		
8	9	10	11	12	13	14		
15	16	17	18	19	20	21		
		創立記念日						
22	23	24	25	26	27	28		
29	30	31						

6 June

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4	6/1(水)~30(木)	クリーンキャンペーン月間
5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30				

7 July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
					1	2	7/8(金) 7/18(月) 7/23(土) 7/25(月)~30(土)	前学期定期試験時間割発表 休日授業実施日(海の日) 前学期授業終了 前学期定期試験期間
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18 海の日	19	20	21	22	23		
24 31	25	26	27	28	29	30		

8 August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
	1	2	3	4	5	6 休業日	8/1(月) 8/1(月)~9/14(水) 8/6(土) 8/19(金) 8/19(金)・22(月) 8/19(金)・22(月) 8/20(土) 8/23(火)~25(木) 8/26(金) 8/27(土)	前学期定期試験欠席届提出期限 夏季休暇 振替休日(休業) 9月卒業単位充足者発表 前学期追(再)試験時間割、該当者発表 前学期追(再)試験受験手続期間 振替休日(休業) 前学期追(再)試験期間 単位認定申請期限(前学期成績反映分) 振替休日(休業)
7	8	9	10	11 山の日	12	13		
14	15	16	17	18	19	20 休業日		
21	22	23	24	25	26	27 休業日		
28	29	30	31					

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
				1	2	3 休業日	8/1(月)~9/14(水) 9/3(土) 9/5(月) 9/5(月) 9/5(月)・6(火) 9/5(月)~8(木)	夏季休暇 振替休日(休業) 9月卒業予定者発表 前学期成績発表 前学期成績調査願提出期間 4年(8学期) 前学期成績調査願提出期間 1年(1学期)~4年(7学期)
4	5	6	7	8	9	10 休業日		
11	12	13	14					
履修登録修正期間							9/7(水)~12(月) 9/10(土) 9/14(水)	履修登録修正期間(授業開始前) 振替休日(休業) 9月学位記授与式

2023/ 1 January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
1 元日	2 振替休日	3	4	5	6	7	12/26(月)～ 2023年1/7(土)	冬季休暇
8	9 成人の日	10	11	12	13	14	1/10(火)～12(木)	後学期補講期間
15	16	17	18	19	20	21	1/10(火)～12(木) 1/13(金)	休講日 大学入学共通テスト準備日(休講)
22	23	24	25	26	27	28	1/14(土)・15(日) 1/16(月) 1/23(月)	大学入学共通テスト(休業) 後学期授業再開 後学期授業終了
29	30	31					1/24(火)～30(月) 1/31(火) 1/31(火)	後学期定期試験期間 単位認定申請期限 4年(8学期) 後学期定期試験欠席届提出期限
							1/31(火)	春季休暇開始

2 February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4 休業日	2/4(土)	振替休日(休業)
5	6	7	8	9	10	11 建国記念の日	2/13(月) 2/13(月)・14(火) 2/13(月)・14(火)	卒業単位充足者発表 後学期追(再)試験時間割、該当者発表 後学期追(再)試験受験手続期間
12	13	14	15	16	17	18 休業日	2/15(水)～17(金) 2/18(土)	後学期追(再)試験期間 振替休日(休業)
19	20	21	22	23 天皇誕生日	24	25 休業日	2/24(金) 2/25(土)	単位認定申請期限 1年(1学期)～4年(7学期) 振替休日(休業)
26	27	28						

3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	Date	Schedule
			1	2	3	4 休業日	3/1(水)	卒業予定者発表
5	6	7	8	9	10	11	3/1(水) 3/1(水)・2(木)	成績発表 4年(8学期) 成績調査願提出期間 4年(8学期)
12	13	14	15	16	17	18	3/4(土) 3/15(水)	振替休日(休業) 学位記授与式
19	20	21	22	23	24	25	3/15(水) 3/15(水)	進級発表 成績発表 1年(1学期)～4年(7学期)
26	27	28 春分の日	29	30	31		3/16(木)～22(水) 3/31(金)	成績調査願提出期間 1年(1学期)～4年(7学期) 学年終了

注意 学年暦の変更、授業に直接関係のある緊急事項及び諸行事等の詳細日程・場所等については随時掲示で告知します。
また、休業日は事務窓口取扱等は一切行いません。

建学の精神

社会性・創造性・合理性を身につけ、
広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす

社会性

今や、人類共存の理念は、地球の資源問題、環境問題を抜きに考えられない時代を迎えました。地球規模で進行しつつある高齢化社会に伴う労働社会問題、低迷を続ける国際経済問題、発展途上国における社会経済問題等々、解決すべき問題は山積しています。これら全人類の課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、和を重んじ、心豊かな社会性に富む人間を育成し、学際領域にも及ぶ総合的教育研究を行います。

創造性

今日、科学技術・学術研究の先端が次々に新しい展開をしており、大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しています。しかし、大切なことは、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければなりません。人類の生き方について、未来からの挑戦を受けていると言われる今日において、学問の世界は、まさに自然科学はもとより人文・社会科学などの分野においても激動の時代を迎え、学際的な領域から価値の見直しが迫られています。知の継承、創造の拠点である大学はより国際競争力を強化し、大学の多様性を発揮して、このような時代において、総合的見地から、国際未来社会を切り拓く創造性豊かな教育研究を行います。

合理性

高度情報化社会を迎え、情報量は増大し、情報なくして個々の人間は、自己の意思決定すら出来ない感を呈しています。科学技術の発達、人々の生活様式を変え、価値観にも大きな影響を及ぼすことから、科学技術の独り歩きは許されることはありません。従って、科学技術のコントロールの完全を期するとともに人間性の発揚に心がけ、未来社会を切り拓く信念が重要となります。このため、合理性ある教育研究の場を醸成します。

このように本学の建学の精神は、社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成を目指すものであります。

明海大学の教育のポリシー

本学では、「建学の精神」に基づき、大学全体としての
ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、
アドミッション・ポリシーを定めている。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

明海大学は、厳格な成績評価の下、建学の精神としての社会性（変わりゆく社会の中でも課題を発見し、主体的に解決する、思考力や判断力）の資質、創造性（自らの求めゆく理想に到達するための思考過程や技術の創造と表現力）の資質、そして合理性（主体的に行動する自律性・自立性と自己の確立）の資質が認められる人材を学位授与の基礎とし、各学部学科および研究科にて基準を定めている。

※ディプロマ・ポリシーとは、各大学、学部、学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるもの。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

明海大学は、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たすという創造性を建学の精神の一つとしている。大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しながらも、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければならない。その意味において、1) 大学生としての学修を通じて社会性、創造性、そして合理性を身につけ明海大学の人間力を形成するための基盤を形成する基礎教育、自らの知識技能を高める人間力形成科目、そして培った力を社会で発揮するためのキャリア教育を共通科目に置き、2) 各学部学科および研究科のディプロマ・ポリシーに到達するためのカリキュラムを専門科目として配置している。

※カリキュラム・ポリシーとは、ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方針を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

明海大学は、建学の精神「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成」をめざして、豊かな人間力を基盤とした高度専門職業人養成を含む幅広い職業人養成を教育の目的としている。そのため、入学予定者には、学業、技術・技能、文化、芸術、スポーツなどの分野で活躍した体験を活かし、入学後、本学での学修を通して、これからの国際社会で通用する実力を身につけ、将来、各分野で活躍したいという強い意志を持つ学生を求めている。さらに、生涯学習社会の到来に対し、時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく資質を有する人材の育成を目途として、生涯学習型学修に意欲的に取り組み、自己の更なる確立をめざす者を求めている。

※アドミッションポリシーとは、各大学、学部、学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラムポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学修成果（「学力の3要素」についてどのような成果を求めるのか）を示すもの。

・「学力の3要素」…①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

三つのポリシー

— ホスピタリティ・ツーリズム学科 —

2022年度入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を修得し、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を身につけ、それらが求められる社会領域で活躍できると判断できる、次の要件を満たした者に学士（ホスピタリティ・ツーリズム学）の学位を授与する。

【ビジネス&プロフェッショナル・コミュニケーション メジャー】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関して十分な知識を持ち、ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とし、これから希少性が高まる接客・接客を重視する産業界において専門性を生かして活躍できる。
- 2 英語運用能力（CEFR B1 レベル以上）を含むコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して学修することができる。
- 3 効果的なパーソナル・コミュニケーションを実現できる能力の上に、社会の変化を適切に捉え、自ら考え主体的に行動することができる。

【デジタル・イノベーション メジャー】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関する知識と ICT リテラシーを併せて修得し、文理を超えた理解をもとにデジタル技術を活用した組織や社会の変革を推進するリーダーとして活躍できる。
- 2 英語運用能力（CEFR B1 レベル以上）を含むコミュニケーション能力を基礎として、言語の違いを超えた活用を目指した学修ができる。
- 3 ホスピタリティ・マインドをベースとした分析・洞察力にあふれ、問題発見と提案力を発揮することで、SDGs の達成に向けて、自ら考え主体的に行動することができる。

【グローバル・マネジメント メジャー】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎として、マネジメントに関する幅広い知識を持って、高度のコミュニケーション能力を必要とする産業界や国内外においてリーダーとして活躍できる。
- 2 英語運用能力(CEFR B2レベル以上相当)を基礎とし、海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学体験に基づく文化の違いを超えたコミュニケーション

能力を十分に有すると同時に、継続して発展させることができる。

- 3 ホスピタリティ・マインドをベースとしたリーダーシップにあふれ、柔軟性を活かして利害を超えた関係を構築でき、組織や社会の変革をリードすることができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科は、ホスピタリティ産業に代表される、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を必要とする産業界において必要となる知識や振る舞いを段階的に修得することを目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。評価は学内外の試験やルーブリックあるいはポートフォリオ等を総合的に使用して実施する。

【ビジネス&プロフェッショナル・コミュニケーション メジャー】

- 1 1年次から4年次まで CEFR を基準とした独自の英語教育を展開し、ホスピタリティ業界で必要となる中級レベル以上の英語コミュニケーション能力を修得する。
(2年次進級要件：CEFR A2 レベル以上、3年次進級要件：CEFR B1 レベル以上)
- 2 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じた基礎学力の修得と目的進路に応じた専門的研究や各種資格取得を通じて「就職力」の強化を図る。

【デジタル・イノベーション メジャー】

- 1 1年次から4年次まで CEFR を基準とした独自の英語教育を展開し、ホスピタリティ業界や ICT に関連する学修で必須となる中級レベル以上の英語コミュニケーション能力を修得する。
(卒業要件：CEFR B1 レベル以上)
- 2 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎としたマネジメントや ICT、デジタル技術に関する、目的進路に応じた専門科目群の履修、実地研修や演習による実践を通じて、幅広く体系的にデジタル技術を活用した変革に必要な知見と発想力を修得する。
(3年次進級要件：IT パスポート試験合格)
- 3 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じて基礎教養と基礎学力を修得するとともに、事例研究等を通じて産業界におけるデジタル技術の利活用
に資する視点・視座・視野の涵養を図る。

【グローバル・マネジメント メジャー】

- 1 1年次の TOEFL を主体とした英語教育と専門領域に関連した教養教育により海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学準備を行い、2・3年次で半年から1年間の留学を経験することで、これからのホスピタリティ・ツーリズム業界のリーダーに求められる多様性の受容とコミュニケーション能力を涵養する。
- 2 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎としたマネジメントに関する専門科目群をほぼ必修とし、目的進路に応じた専門科目群の履修、演習による実践を通じて、幅広く体系的にマネジメントに必要な知識と振る舞いを修得する。
- 3 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じた基礎教養と基礎学力の修得と、マネジメントとリーダーシップに関する専門研究を通じて「社会人基礎力」の強化を図る。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を学び、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を生かして社会に貢献することに強い意欲を持つ人材を、次の3つのメジャーに分けて求めている。

【ビジネス&プロフェッショナル・コミュニケーション メジャー】

- 1 何事にも主体的、積極的に取り組む意思のある人
- 2 ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とする産業で、接客・接遇の価値を理解し、発揮あるいは活用、運営できるエキスパートとして貢献していくことを強く希望する人

対応する入試【総合型選抜（AO）】【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

- 3 基礎的な英語運用能力（CEFR A2 レベル以上）を有し、入学後も引き続きその能力を高める努力をする意思のある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

【デジタル・イノベーション メジャー】

- 1 想像力と創造力を活かした挑戦と創意工夫に取り組む意思のある人
- 2 ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とする産業で、デジタル技術を活用した変革を推進していくことを強く希望する人

対応する入試【総合型選抜（AO）】【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

- 3 基礎的な英語運用能力（CEFR A2 レベル以上）を有し、入学後も引き続きその能力を高める努力をする意思のある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

【グローバル・マネジメント メジャー】

- 1 国際感覚を持ち、ホスピタリティ・マインドと高度のコミュニケーション能力が要求される産業や国内外領域においてリーダーとして活躍するための基本的能力を有し、論理的思考や問題発見への習熟に取り組む意思のある人
- 2 ホスピタリティ・マインド、語学力と多文化理解力が必要とされる産業分野を中心としたさまざまな社会領域において、リーダーとして貢献していくことを強く目指す人
- 3 基本的な英語運用能力（CEFR B1 レベル以上）を有し、入学後にもその能力の応用と活用に向けて努力し続ける向上心のある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（AO）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

2020・2021年度入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を修得し、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を身につけ、それらが求められる社会領域で活躍できると判断できる、次の要件を満たした者に学士（ホスピタリティ・ツーリズム学）の学位を授与する。

【ホスピタリティ・ツーリズム メジャー】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関して十分な知識を持ち、ホスピタリティ産業、その他ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とする産業において専門性を生かして活躍できる。
- 2 特に、英語運用能力（CEFR B1 レベル以上）を含むコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して学修することができる。
- 3 ホスピタリティ・マインドにあふれ、状況把握を発揮することで周囲への気配りができ、社会の変化に対しても果敢に挑戦し、自ら考え主体的に行動することができる。

【グローバル・マネジメント メジャー】

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎として、マネジメントに関する幅広い知識を持って、高度のコミュニケーション能力を必要とする産業や国内外においてリーダーとして活躍できる。
- 2 英語運用能力(CEFR B2レベル以上相当)を基礎とし、海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学体験に基づく文化の違いを超えたコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して発展させることができる。
- 3 ホスピタリティ・マインドをベースとしたリーダーシップにあふれ、柔軟性を活かして利害を超えた関係を構築でき、組織や社会の変革をリードすることができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科は、ホスピタリティ産業、その他ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を必要とする産業において必要となる知識や振る舞いを段階的に修得することを目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。

【ホスピタリティ・ツーリズム メジャー】

- 1 1年次から4年次まで CEFR を基準とした独自の英語教育を展開し、ホスピタリティ業界で必要となる中級レベル以上の英語コミュニケーション能力を修得する。
(2年次進級要件：CEFR A2 レベル以上、3年次進級要件：CEFR B1 レベル以上)
- 2 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じた基礎学力の修得と目的進路に応じた専門的研究や各種資格取得を通じて「就職力」の強化を図る。

【グローバル・マネジメント メジャー】

- 1 1年次の TOEFL を主体とした英語教育と専門領域に関連した教養教育により海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学準備を行い、2・3年次で半年から1年間の留学を経験することで、これからのホスピタリティ・ツーリズム業界のリーダーに求められる多様性の受容とコミュニケーション能力を涵養する。
- 2 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎としたマネジメントに関する専門科目群をほぼ必修とし、目的進路に応じた専門科目群の履修、演習による実践を通じて、幅広く体系的にマネジメントに必要な知識と振る舞いを修得する。
- 3 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じた基礎教養と基礎学力の修得と、マネジメントとリーダーシップに関する専門研究を通じて「社会人基礎力」の強化を図る。

アドミッション・ポリシー（入学受け入れの方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を学び、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を生かして社会に貢献することに強い意欲を持つ人材を、次の2つのメジャーに分けて求めている。

【ホスピタリティ・ツーリズム メジャー】

- 1 何事にも主体的、積極的に取り組む意思のある人
- 2 旅行、ホテル、航空、エンターテインメント、ウエディング、外食、化粧品販売を始めとするホスピタリティ・ツーリズム産業、その他ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とする産業への就職を強く希望する人

対応する入試【総合型選抜（AO）】【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

- 3 基礎的な英語運用能力（CEFR A2 レベル以上）を有し、入学後も引き続きその能力を高める努力をする意思のある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

【グローバル・マネジメント メジャー】

- 1 国際感覚を持ち、ホスピタリティ・マインドと高度のコミュニケーション能力が要求される産業や国内外領域においてリーダーとして活躍するための基本的能力を有し、論理的思考や問題発見への習熟に取り組む意思のある人
- 2 ホスピタリティ・マインド、語学力と多文化理解力が必要とされる産業分野を中心としたさまざまな社会領域において、リーダーとして貢献していくことを強く目指す人
- 3 基本的な英語運用能力（CEFR B1 レベル以上）を有し、入学後にもその能力の応用と活用に向けて努力し続ける向上心のある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（AO）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

2017～2019年度入学生

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を修得し、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を身につけ、それらが求められる社会領域で活躍できると判断できる、次の要件を満たした者に学士（ホスピタリティ・ツーリズム学）の学位を授与する。

『ホスピタリティ・ツーリズム メジャー』

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関して必要な知識を持ち、旅行、ホテル、航空、エンターテインメントを始めとするホスピタリティ・ツーリズム産業、その他ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とする産業において専門性を生かして活躍すると判断できる。
- 2 特に、英語運用能力（TOEIC600点以上）を含むコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して学修すると判断できる。
- 3 ホスピタリティ・マインドにあふれ、周囲への気配りができ、社会の変化に対しても果敢に挑戦し、自ら考え主体的に行動すると判断できる。

『グローバル・マネジメント メジャー』

- 1 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎として、マネジメントに関する幅広い知識を持って、高度のコミュニケーション能力を必要とする産業や国内外においてリーダーとして活躍すると判断できる。
- 2 英語運用能力（TOEFL iBT 80点以上相当）を基礎とし、海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学体験に基づく文化の違いを超えたコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して発展させると判断できる。
- 3 ホスピタリティ・マインドをベースとしたリーダーシップにあふれ、利害を超えて周囲に働きかけることで、組織や社会の変革をリードすると判断できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科は、旅行、ホテル、航空、エンターテインメントを始めとするホスピタリティ・ツーリズム産業、その他ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を必要とする産業において必要となる知識や態度を段階的に修得することを目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている

『ホスピタリティ・ツーリズム メジャー』

- 1 1年次から4年次まで TOEIC をベースにしたシステムティックな独自の英語教育を展開し、ホスピタリティ業界で必要となる高度な英語コミュニケーション能力を修得する。

(2年次進級要件：TOEIC500点以上、3年次進級要件：600点以上)

- 2 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じた基礎学力の修得と目的進路に応じた専門的研究や各種資格取得を通じて「就職力」の強化を図る。

『グローバル・マネジメント メジャー』

- 1 1年次の TOEFL を主体とした英語教育と専門領域に関連した教養教育により海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学準備を行い、2・3年次で半年から1年間の留学を経験することで、これからのホスピタリティ・ツーリズム業界のリーダーに求められる多様性の受容とコミュニケーション能力を涵養する。

- 2 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎としたマネジメントに関する専門科目群をほぼ必修とし、目的進路に応じた専門科目群の履修、演習による実践を通じて、幅広く体系的にマネジメントに必要な知識と態度を修得する。

- 3 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じた基礎教養と基礎学力の修得と、マネジメントとリーダーシップに関する専門研究を通じて「社会人基礎力」の強化を図る。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を学び、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を生かして社会に貢献することに強い意欲を持つ人材を、次の2メジャーに分けて求めている。

『ホスピタリティ・ツーリズム メジャー』

- 1 何事にも主体的、積極的に取り組む意思のある人

対応する入試【AO入試】【スポーツ・文化活動特別入試】【推薦入試】【外国人留学生特別入試】

- 2 旅行、ホテル、航空、エンターテインメント、ウエディング、外食、化粧品販売を始めとするホスピタリティ・ツーリズム産業、その他ホスピタリティ・マイン

ドと語学力を必要とする産業への就職を強く希望する人

対応する入試【AO入試】【スポーツ・文化活動特別入試】【推薦入試】【外国人留学生特別入試】

- 3 基礎的な英語運用能力（CEFR A2 レベル以上）を有し、入学後も引き続きその能力を高める努力をする意思のある人

対応する入試【AO入試】【推薦入試】【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】【外国人留学生特別入試】

『グローバル・マネジメント メジャー』

- 1 国際感覚を持ち、ホスピタリティ・マインドと高いコミュニケーション能力が要求される産業や国内外領域においてリーダーとして活躍するための基本的能力を有し、論理的思考や問題発見への習熟に取り組む意思のある人

対応する入試【AO入試】【推薦入試】【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】【外国人留学生特別入試】

- 2 ホスピタリティ・マインド、語学力と多文化理解力が求められる産業分野を中心としたさまざまな社会領域において、リーダーとして貢献していくことを強く目指す人

対応する入試【AO入試】【推薦入試】【外国人留学生特別入試】

- 3 基本的な英語運用能力（CEFR B1 レベル以上）を有し、入学後もその能力の応用と活用に向けて、努力し続ける向上心のある人

対応する入試【AO入試】【推薦入試】【一般入試】【大学入試センター試験利用入試】【外国人留学生特別入試】

履修計画を作ろう

ホスピタリティ・ツーリズム学部長 内苑 孝美

ご入学、ご進級おめでとうございます。

18年目を迎えるホスピタリティ・ツーリズム学部は2022年度入学の皆さんから「ビジネス&プロフェッショナル・コミュニケーション メジャー (BPCM)」と「デジタル・イノベーション メジャー (DXM)」、「グローバル・マネジメント メジャー (GMM)」、と3メジャーになり、将来の進路目標に合わせて入学してきた学生の夢実現のため、なお一層の充実を図ってまいります。

新入生の皆さんは、今までの中学・高校とは違い、自分自身で4年間の履修計画を計画しなくてはなりません。各メジャーで、将来の進路あるいは職業をイメージして、それを実現するために必要とされる能力は何か、その能力を身につけるにはどの科目を履修すればよいのか、この「履修の手引」を参考にして自分の時間割を作ってください。GMMの学生は2年生への進級要件の一つである、TOEFL iBT 60以上、IELTS 5.5以上を早く取得できるように勉強してください。

2年生の皆さんは、HTMでは「エアラインビジネス論」「ホテルビジネス論」「トラベルエージェンシービジネス論」などの専門科目が始まります。将来の自分の姿を意識した履修計画を練ってください。

同時に、一般教養の学習にも心がけた時間割になるように工夫してください。

GMMは後期から海外留学となります（外国人留学生を除く）、専門科目や共通科目を計画的に履修し時間割を作ってください。また、余裕をもって留学準備に入ってください。

3年生のHTMの皆さんは、専門科目が本格的に始まり、後学期には就職活動がスタートします。自分の目標をしっかりと見据えた活動が要求されます。その第一歩として、夢の実現に向けた履修計画を作成してください。

GMMの皆さんは、海外留学から帰国された経験に基づき、マネジメント科目やより専門性を高められる科目を履修し、より能力を高めてください。

4年生の皆さんは、これまでの学校生活で得た知識と経験を更に深めることができる履修計画を作成してください。学修と就職活動との両立を図り、学生生活最後の1年間を充実させてください。

各メジャーで学んだ事を活かし、ホスピタリティ産業をはじめとした色々な企業に進みたいという希望を強く持った皆さんが多いと思います。

ホスピタリティ産業において期待されるのは、お客様の多重多様な要求に、柔軟に素早く対応できる「マインド」つまりホスピタリティあふれる人材です。また、マネジメントの学修は必ず将来に役に立ちます。日々の努力を積み重ね、広く国際未来社会で活躍することを期待します。

学部概要

2022年度入学生

コロナ禍は社会に大きな影響を及ぼしました。

これまで、産業構造の変化と技術革新、さらに経済・社会の成熟により、サービス経済化が進む現代社会において、経済波及効果と雇用創出効果が高く、長期にわたる成長が見込まれたホスピタリティ・ツーリズム産業は、日本におけるリーディング産業として期待されてきました。

しかし、コロナ禍により、ホスピタリティ・ツーリズム産業も社会的な変化に応じた新たな形を模索するようになりました。接客・接遇を主体とするサービス業においても、デジタルシフトが加速しました。また、その一方で、この分野で必要とされるもののすべてがデジタルシフトすることではなく、ビジネスプロフェッショナルに求められる対面コミュニケーション能力や「ホスピタリティ・マインド」の必要性は依然として残りました。むしろ利用機会が減少し、頻度が低下したことで対人コミュニケーションの希少性は高まり、よりラグジュアリーなものになります。今後、そのようなニーズに対応できる能力を持つ人材の価値はますます高まるとも考えられます。

そこで、このデジタルシフトとラグジュアリーシフトの2極化に対応し、これまでホスピタリティ・ツーリズム学部が培ってきた「多様性（ダイバシティ）への適応」を一層推進するために、本学部は2022年度より3つのメジャー制に移行します。ひとつはホスピタリティ・ツーリズム学にデジタル・イノベーションの知見を融合させ、文理を超えた理解でビジネス変革を推進するリーダーを育成する「デジタル・イノベーション メジャー」(DXM)、もうひとつは、ホスピタリティ・マインドに基づくコミュニケーションの知見を活かしてラグジュアリーなサービスを企画・実践できるエキスパートを育成する「ビジネス&プロフェッショナル・コミュニケーション メジャー」(BPCM)、そして、グローバルな視野からホスピタリティ・マインドを活かしたビジネスを企画し、様々な領域で活躍できるリーダーを育成する「グローバル・マネジメント メジャー」(GMM)の3つのメジャーです。

これらの3つのメジャー制を通して、学際的な見地から産業界の様々な課題や現象に焦点を当て、各メジャーの特色に応じた企業や地域社会と連携する「実学・実践的な教育」を展開し、「ホスピタリティ・マインド」を醸成する人格形成教育を実践することで広く国際社会において活躍し得る有為な人材を育成していきます。

2021年度以前入学生

産業構造の変化と技術革新、さらには経済・社会の成熟により、サービス経済化の時代と言われる現代社会において、旅行、ホテル、航空、エンターテインメントや外食産業などのホスピタリティ産業は、経済波及効果と雇用創出効果が高く、長期にわたって成長が見込まれるなど、日本におけるリーディング産業として期待されています。また、あらゆる企業活動において「モノ」から「心」の豊かさに関わる経済活動が重視される歴史的転換期を迎え、顧客個人を大切にし、高付加価値のサービスを提供することができる「ホスピタリティ・マインド」を備えた人材が求められています。

本学部では、このような社会的な情勢に応え、ツーリズム関連産業を始めとするあらゆるホスピタリティ産業に学際的な見地から焦点を当て、企業や地域社会と連携した「実学・実践的な教育」を展開するとともに、「ホスピタリティ・マインド」を醸成する人格形成教育を実践し、広く国際社会において活躍し得る有為な人材を育成します。